

株式会社 JVCケンウッド

2024年3月15日

反射型液晶デバイス（LCOS）の生産拠点を 当社久里浜工場（神奈川県横須賀市）から、JSファンダリ新潟工場（新潟県小千谷市）に移転

～高い精度と、より安定した品質を確保し、生産量への柔軟な対応を図る～

株式会社JVCケンウッドは、反射型液晶デバイス（LCOS[※]）の生産拠点を2024年4月より、当社久里浜工場（神奈川県横須賀市）から、株式会社JSファンダリ（代表取締役社長：酒井 明彦／本社：東京都港区、以下「JSファンダリ」）の新潟工場（所在地：新潟県小千谷市）に移転することを決定しました。

当社久里浜事業所内の工場の稼働は2024年3月末日をもって終了し、同年4月1日以降はJSファンダリの新潟工場内の生産施設（クリーンルーム）の一部を賃借して、LCOSを生産します。同社の生産施設は、当社LCOSの生産仕様や規格にも適しており、今後も高い精度と、より安定した品質の確保、ならびに生産量への柔軟な対応を図っていきます。

※：LCOS：Liquid Crystal on Siliconの略。



<当社「D-ILA」プロジェクター搭載の4K「D-ILA」デバイス>



<JSファンダリ 新潟工場>

<生産拠点移転の背景>

当社は、中期経営計画「VISION2025」において、“変革と成長”を基本戦略とし、企業価値の最大化に向けて「経営基盤のさらなる強化」を進めています。その一環としてものづくり改革を推進し、事業環境の変化に即応する安定的かつ持続可能なものづくりの実現に取り組んでいます。

そのような中、当社「D-ILA」プロジェクターに搭載しているLCOSの生産について、現在の生産拠点である当社久里浜事業所から、国内初の独立系ファウンダーであるJSファンダリの半導体専用の生産拠点である新潟工場（新潟県小千谷市）への移転を決定しました。移転後は、同社新潟工場内の半導体生産施設（クリーンルーム）の一部を賃借して、LCOSを生産します。同社のクリーンルームは、8K映像表示やネイティブ4Kなどの高精細を誇る当社LCOSの生産仕様や規格に適しており、より高い精度と安定した品質を確保しつつ、生産量への柔軟な対応を実現し、将来的には生産能力のさらなる強化と高度なものづくりを目指します。なお、2024年4月より移転先にて生産の立ち上げを行い、同年内にも量産開始を予定しています。

<今後の取り組み>

LCOSは昨今、プロジェクター用映像デバイスだけでなく、光通信デバイスとして社会実装が着実に進んでおり、特にポスト5Gネットワークで発生する膨大な通信トラフィックに対応するための高性能化と、将来的に拡大が予想される需要への対応が求められています。こうした背景を踏まえて、当社は、今回の生産拠点の移転により、LCOSのラインアップ強化と生産量への柔軟な対応を図るとともに、より高度なものづくりの実現により、革新的な次世代映像技術、および通信技術を提供することで社会のニーズに応えていきます。

本資料の内容は発表時のものです。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。